

令和3年度第1回初級講習会



報告

令和3年度、第1回初級講習会を、7月28日（水）、29日（木）、31日（土）、8月5日（木）、6日（金）、7日（土）の6日間開催しました。

各先生方から内容の濃いご講義をいただき、充実した講習会になりました。参加者は、講習会を通して、提供会員として活動するための基礎的な知識や技能を身に付けようと熱心に受講されました。

講習会の様子



保育のこころ

松山市保育・幼稚園課

太田 久美子 先生 岡田 祐子 先生

子どもの月齢別の発達や特徴など、発達に応じた援助対応について詳しくご説明いただきました。また、子どもが甘えたい（情緒的な要求）ときは甘えさせてよいことなど今の時代にマッチした子どもとの向き合い方などもご講義いただきました。

子どもの遊び

松山市保育・幼稚園課

太田 久美子 先生 岡田 祐子 先生

子どもの成長に合わせた遊びや、身近にある物で簡単に作れて楽しく遊べるおもちゃの紹介と制作の実習を行いました。その他、タオル2枚ですぐに作れる防災頭巾の作成体験もさせていただきました。また、今の時代に必要な、子どもが嘔吐したとき等に感染しない対処方法も学びました。

子どもの心の発達とその問題 I

えひめ子育てサポートラボほっこりん

主宰 玉井 利恵 先生

子どもの心の発達段階に応じた対応方法やコミュニケーションの取り方をご講義いただきました。児童期（6～12歳）に自己肯定感を育むことの大切さも教えていただきました。また、5人に1人と言われる「ひと一倍敏感な子ども」への接し方も学ぶことができました。

身体の発育と病気

石丸小児科
院長 中野 省三 先生

子どもの発熱時に手足の温度が低いと要注意であることや、嘔吐・下痢・痙攣を起こしたときの対応をお話しいただきました。今関心の高い感染症についても教えていただき多くの知識を得ることができました。

子どもの世話

愛媛県立医療技術大学
看護学科長 豊田 ゆかり 先生

子どもの呼吸循環・消化吸収・排泄・免疫機能・体温調節などの生命維持のしくみと注意点を分かりやすくご講義いただきました。また、成長において睡眠の大切さと良質な睡眠を取るためのポイントも学ぶことができました。

介護のこころ

介護福祉士
杉本 詠二 先生

高齢者、特に認知症の方への係わり方について、シビアな内容もユーモアを交えながらご説明していただきました。援助するにあたってトラブルを未然に防止する手法や心構えをも知ることができました。絶妙なトークに吸いこまれた参加者も多かったようです。

子どもの栄養と食生活

管理栄養士
中村 由美 先生

離乳食に関する基礎的な知識と上手な食事の介助の行い方や注意点を月齢に応じてわかりやすくご講義いただきました。
また、幼児期の食事支援についても年齢毎に具体的に学ぶことができました。新陳代謝についても建築物の建て替えに例えて、興味深く教えていただきました。

子どもの心の発達とその問題 II

児童発達支援センターあゆみ学園

児童発達支援管理責任者 今村 高博 先生

「気になる子」「関わりにくい子」は大人が勝手に貼ったレッテルであり、子どもたちにとっては個性や特性の違いでしかないことである。大人たちが多様な子どもがいる事を事前知っておけば、大人が混乱せず適切に対応できることをご講義いただきました。また、子どもがパニックを起こすメカニズムなども分かりやすく解説いただき多様な子どもの個性に冷静に対応できる知識を学びました。

看護の基礎知識

日本赤十字社 愛媛県支部

事業推進課 福祉係長 鶴久森 陽子 先生

基本的な看護についての詳しくご講義いただきました。
脳卒中、熱中症、痙攣などのときの症状と処置のしかたも教えていただきました。
また、家庭内での事故防止のポイントや誤飲・誤嚥時の対応方法も学ぶことができました。

安全・事故・救命講習

日本赤十字社 愛媛県支部

事業推進課長 平野 昇 先生

心肺停止状態などで、心肺蘇生が必要な傷病者に対する一時救命処置である「胸部圧迫」と「AEDを用いた除細動」の仕方についてご講義いただきました。人形や器具を用いて何度も何度も繰り返して実習をさせていただいたので、受講生からは救命処置の手法を身に付けることができたので、いざという時には勇気を持って実践したいという声が多くあがりました。

事業を円滑に進めるために(修了式)

まつやまファミリー・サポート・センター
アドバイザー

まつやまファミリー・サポート・センターのしくみや「育児」と「介護」の提供会員として、今後の活動がスムーズに始められるよう、心構えや援助の仕方、報酬、事務的な手続き等について説明しました。

その後提供会員としての今後の活動について、アドバイザーと面談しました。

井藤館長の終講挨拶のあと会員証を交付し、参加者は今後の援助活動に対する希望と期待で目を輝かせていました。



参加者

6日間 11講座 延べ 107 人



提供会員資格取得

育児・介護両方	5名
育児のみ	2名
介護のみ	3名